

遺伝子情報；新規登録＆変更に関して

2025年11月18日

- 1 *Chaetoceros teres* 28S遺伝子解析について、休眠孢子を確認する前に単離培養し測定した結果だったため、*lauderi* 遺伝子に近いものと判明した。
このため *teres* の休眠孢子を形成した時に測定した遺伝子解析結果と差し替えた。
lauderi と本種 *teres* に関しては、栄養細胞の形態だけでは判別が難しく、休眠孢子の形態が異なる。*lauderi* 遺伝子も休眠孢子の形態が複数種確認されていることから本種を含めた隠蔽種が多数存在している（Dr. kooistrs談）

***Chaetoceros teres* 28S (PB-68)DNA解析結果(GenBank)；2025年11月04日 新規登録リンク**

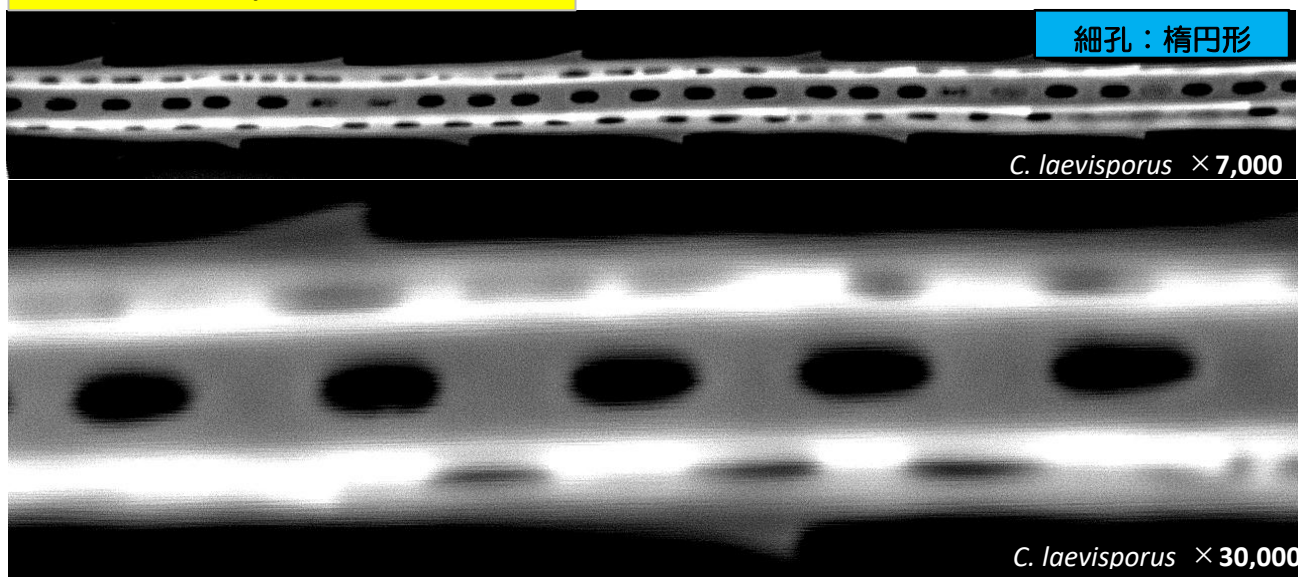
***Chaetoceros lauderi* 28S (PB-11)DNA解析結果(GenBank)；2025年11月04日 更新依頼リンク**

- 2 *Chaetoceros rostratus* の遺伝子は、未測定でしたが、今回単離培養に成功し28S遺伝子を登録した。（*Chaetoceros separatus*）
本種は、2022年にBiaobiao Niu他による” Diversity and phylogeny of *Chaetoceros* species (Bacillariophyceae) with a central valve linking protuberance” の論文により、*C. rostratus* および *C. rostratus* var. *glandazii* を再検討した結果、本図鑑掲載の画像は、*Chaetoceros separatus* sp. nov.として記載され、AlgaeBaseでも承認された。
上記により、従来は、*rostratus*であった種は、2つに分かれ、*Chaetoceros separatus* として遺伝子登録した。（旧 *rostratus* var. *glandazii*）
Chaetoceros separatus の特徴は、*rostratus* のType種と比較し、1；細胞連結突起が長く、2；隣接刺毛との交差が無い事が特徴としている。

***Chaetoceros separatus* 28S (PB-66)DNA解析結果(GenBank)；2025年11月10日 新規登録リンク**

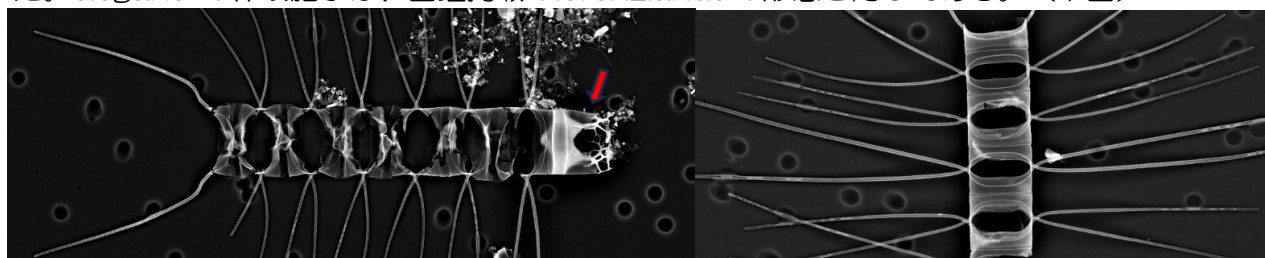
- 3 *Chaetoceros laevisporus* (*lorenzianus*) の遺伝子解析結果
【形態情報更新歴】2025.08.26掲載の本種の特徴的な休眠孢子が小田原漁港で確認されたため、その休眠孢子より出芽した細胞培養より遺伝子を測定した結果を以下に示した。

Chaetoceros laevisporus の連結刺毛の形

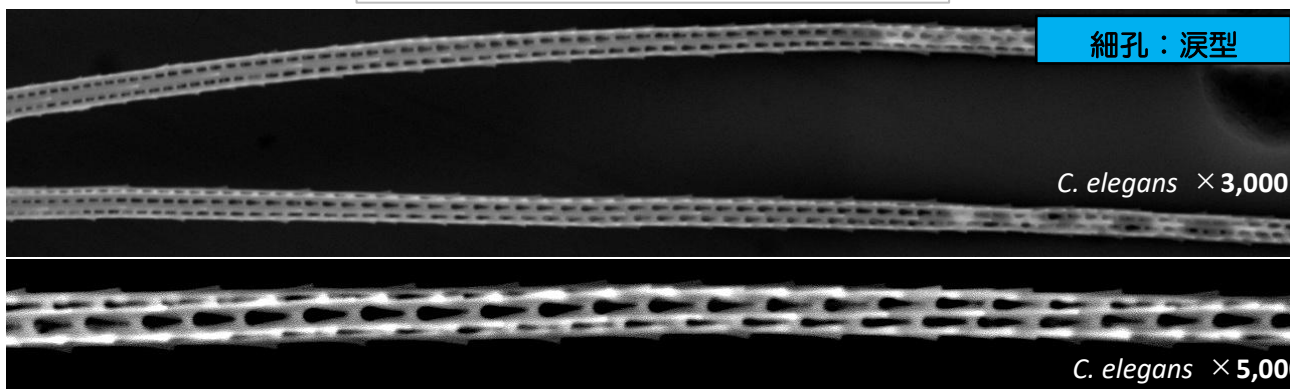


***Chaetoceros laevisporus* 28S (PB-67)DNA解析結果(GenBank)；2025年11月10日 新規登録リンク**

- 4 *Chaetoceros elegans* (*lorenzianus*) の遺伝子解析結果
 2025.06.18小田原漁港にて採集した本種と思われる個体を遺伝子解析したところ、28Sにおいて、*elegans*の遺伝子結果と一致したため登録した。その時に撮影した画像を以下に掲載した。*elegans* の休眠孢子は、図鑑掲載の*lorenzianus*の形態と同じである。(下図)



Chaetoceros elegans 全体像及び休眠孢子



Chaetoceros elegans 28S (PB-69)DNA解析結果(GenBank)；2025年11月10日 [新規登録リンク](#)

- 5 *Chaetoceros mannaii* (*lorenzianus*) の全体像と刺毛形態
elegans 出現の2025年06月18日、同時に本種も出現した。刺毛の形状は、他の*lorenzianus* complexと比較し太く、刺毛基部より連続して細孔は大きく空く。

